

# 西都原考古博物館少年団

宮崎県立西都原考古博物館少年団は、体験活動を通して古代の人々の生活や知恵を学び、考古学に関する興味・関心、文化財の保存と活用についての意識を高めることを主な目的に、活動します。

年間を通しての活動内容は、古代生活体験館でのものづくりや体験が主となります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数や活動の制限、場所や内容の変更などを行いながら実施することになりますが、子どもたちの学びを止めることなく、新しい生活様式に沿った新しい少年団活動を行っていきたいと思います。

活動テーマは、「古代のくらしを楽しく学ぼう」です。県内の小・中学生が団員として6月から毎月1回、計9回の活動をします。以下、活動の様子を紹介します。

## 第7回「土器作りをしよう！」

令和4年12月11日(日)

第7回は、土器作り体験です。オリジナルの土器作りをしました。

粘土を8等分し、最初に土器の底を作ります。円盤状のしっかりした底を作ります。次に粘土を紐状に延ばし、輪積みにしていきます。土器の形ができあがったら、縄や木の棒に模様を彫ったものを土器の外側で転がして模様をつけます。

このあと、土器は自然乾燥させ、次回の少年団で野焼きにて焼きます。



土器の底



粘土紐作り



輪積み



成形完了

## 第6回「古代のアクセサリーをつくろう！（中止：古代食）」

令和4年11月20日(日)

第6回は、古代食体験の予定でありましたが、雨天予報であったため、実施できなかった第4回「古代のアクセサリーを作ろう」を実施しました。

今回は貝殻を使った「貝輪」(ブレスレット)とネックレスを作りました。貝輪は、赤貝の貝殻に穴を開け、砥石で磨いて作りました。貝殻が分厚く、穴を開け、穴を広げる作業は大変苦勞をしました。ネックレス作りは、タカラガイやカキ、ハマグリ、アサリ等の小さな貝殻に穴を開け、紐を通せば完成です。貝殻は少年団の子どもたちが集めたものと職員が蚊口浜(高鍋町)で集めたものを使用しました。



砥石で磨く



タガネで穴を開ける



貝輪



ネックレス

## 第5回「火おこしをしよう！」 令和4年10月16日(日)

第5回は、弓錐式の火起こし体験です。少し力を必要とする火起こしなので、おうちの人と一緒に行いました。

まずは火種をつくること。石で火錐棒を押さえ、弓を前後に動かします。弓を動かさなくても煙が出続けたら火種の完成です。

次に炎をつくります。火種を細くて燃えやすいものにくっつけて息を吹きかけます。当館では、麻紐をほどいたもの→杉の葉の順で火の粉を移していき、炎が上がったら成功です。

最後は焚き火でおやつを炙って食べました。



## 第4回「古代のアクセサリーをつくろう！」 令和4年9月19日(月・祝) 中止

台風の影響のため、中止になりました。

## 第3回「まが玉をつくろう！」 令和4年8月14日(日)

第3回は、まが玉づくりです。古代生活体験館で体験できる、磨くだけのまが玉ではなく、四角い石にデザインするところから行いました。石に下絵を描き、砥石で少しずつ削って形を整えていきます。形が整ったら、紐通しの穴を開け、耐水ペーパーで磨き、布で仕上げ磨きをして完成です。一つとして同じものがない、自分だけのオリジナルのまが玉ができました。



世界に一つだけのまが玉ができましたね。

## 第2回「考古学って楽しい！」 令和4年7月30日(土) 中止



台風の影響のため、中止になりました。

## 第1回「博物館を探検しよう！」 令和4年6月26日(日)

博物館1階の多目的ホールで「結団式」を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたしました。本年度は40名(結団式の出席者は36名)で活動していきます！  
式の後には、バックヤードツアーとして展示室や収蔵庫、保存処理室を見学しました。

コロナ禍の中、感染症拡大防止対策等で活動に制限が多くなりますが、思い出に残る1年間にするべく職員一同頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



結団式



館内見学(収蔵庫・金属製品)



館内見学(収蔵庫・古人骨)



館内見学(保存処理室)

(全員マスク着用の上、エアコン・換気扇の稼働、窓などの開放、短時間での活動をしております。)